



「お城を見つめ直す」

点 鐘 12:30 西牧会長
司 会 S. A. A.・プログラム 征矢クラブ管理委員
斉 唱 「手に手つないで」

会長あいさつ



西牧会長
最近世間で話題になっている地域包括ケアシステムについて述べたいと思います。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65歳以上の人口は、現在3000万人を超えており、2042年の約3900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進している。

地域包括ケアシステムの5つの構成要素(住まい・医療・介護・予防・生活支援)が、互いに連携しながら有機的な関係を担っていくことが目的となります。

地域における生活の基盤となる「住まい」「生活支援」をそれぞれ、植木鉢、土と捉え、専門的なサービスである「医療」「介護」「予防」を植物と捉えています。植木鉢・土のないところに植物を植えても育たないのと同様に、地域包括ケアシステムでは、高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供され、その住まいにおいて安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」があることが基本的な要素となります。そのような養分を含んだ土があればこそ初めて、専門職による「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」が効果的な役目を果たすものという考え方です。

幹事報告

藤田幹事

①次回4月5日(水)例会開始前 (PM6:00~7:45)、定例理事会開催。

②各RC例会変更のお知らせ。

[白馬RC] 4月4日(火)移動例会(3/29交換学生スキーの集い)、4月25日(火)移動例会(夜間例会;ふじさわ湘南RC訪問例会) / [大町RC] 4月5日(水)移動例会(4/9夜間例会;例会場休館の為ビジター受付なし)、4月12日(水)移動例会(例会場休館の為ビジター受付なし)、4月19日(水)移動例会(夜間例会) / [松本空港RC] 4月10日(月)移動例会(夜間例会;お花見例会&米山奨学生送別会「深志荘」) / [木曾RC] 4月11日(火)移動例会(夜間例会;夜桜例会「興禅寺」) / [塩尻北RC] 4月13日(木)移動例会(夜間例会;ガバナー補佐最終訪問合同例会・観桜会)、4月6・20日(木)休会 / [塩尻RC] 4月14日(金)移動例会(4/13塩尻北RCとの合同観桜例会) / [あづみ野RC] 4月19日(水)移動例会(夜間例会;観桜会) / [松本西南RC] 4月19日(水)移動例会(4/16浅間温泉大音寺山(植樹活動))、4月26日(月)移動例会(4/22西南の集いin福知山参加) / [松本RC] 4月27日(木)移動例会(夜間例会)、5月25日(木)移動例会(早朝清掃例会;花時計公園) / 5月5日(木)休会

出席報告

中島クラブ管理副委員長

会員総数 22名(内出席規定適用免除欠席者5名)
本日の欠席者5名(他2名は事前メイキャップ済)
出席率 70.06%
前々回(3/8)修正欠席者3名 出席率 83.33%

ニコニコボックス報告

中島クラブ管理副委員長

コメント ◇後3ヶ月になりました。西牧君 ◇年度末まで忙しいですか?藤田君 ◇先週は松本の奥座敷までお越しいただいたお蔭で、歴史を学ぶことができ、うれしく思っています。まだまだ勉強不足を感じています。山崎君 ◇WBC同店ですね。勝ってほしいです。丸山君 ◇驚いた。雪が多く降ってきて、ちょっと驚いた。少なくて良かった。井筒君 ◇先週末は暖かかったのに、昨日は肌寒く…。三寒四温で春が近づいているのでしょうかね。中島君 ◇東京は桜が咲いたとか。松本はいつに。楽しみに。上條君

遅刻 ◇現在8回。一死2・3塁の大ピンチで1点入れられてしまいました。クラブフォーラムに集中しましょう!!宮澤君 **なんとなく** ◇征矢君

配布資料; 「幹事報告」「会報No.34」「他RC本年度R財団地区補助金活動報告」「会長あいさつ資料;地域包括ケアシステムについて」

回覧資料; 「ロータリー世界と日本」「ロータリーあなたも新しい風に」「ユネスコ寺子屋運動の礼状」「岡山城RC会報」「岐阜城RC会報」

～ プログラム ～

《クラブフォーラム》

「ロータリー財団地区補助金活動について」



*2016-17 年度地区補助金事業報告

(R財団ニュースより)

- ◎佐久RC
「佐久市内中学生に対する職業体験学習に向けての教育支援事業」
- ◎塩尻RC
「ひとり親家庭及び一般家庭対象の農業クラブで使用するビニールハウス設置支援」
- ◎岡谷RC
「子どもたちに伝える絹製品のものづくり“シルクのまち岡谷”を継承する事業」
- ◎伊那中央RC
「小中高生女子ソフトボール大会での打撃向上のための支援プロジェクト」
- ◎飯田南RC
「‘アイパークやすおか’の森林整備事業」
- ◎長野西RC
「2016-2017年度ロータリーの森林(もり)作り—一分収育林事業—」
- ◎上田東RC
「上田市‘市民の森’に地域の学童と共に植樹する事業」
- ◎塩尻北RC
「障害者福祉施設で“信州ひすいそば”を提供しての交流プロジェクト」
- ◎富士見RC
「地域の里山に山野草を植栽する事業」
- ◎小諸RC
「ロータリーメンバーの職業を活かし、一日なんでも相談室の開催」
- ◎上田RC
「園児、児童のための防災教育」
- ◎松本東RC
「留学生による日本語スピーチコンテスト」
- ◎飯田RC
「児童養護施設“風越寮”の生徒たちと陶芸体験を通じて触れ合うプロジェクト」
- ◎松本城RC
「里山に児童を親しませるプロジェクト」

実施されてきた事業は、森林に関係すること、児童に対する事業が多いと思います。次年度当クラブは、例年とは違う事業を計画されているようです。

地区補助金についてのお考えをお願いします。

- 地元（松本城・松本の歴史）の勉強する事業、子ども向けの講演など。
- 松本城に関わりのある事業。
- 松本市の勉強会・講演会等の開催。
- 自然に関わりのある事業。
- 以前、児童園児と松本城の床磨きをし、歴史の勉強会を実施したとき、普段入ることの出来ない所であったため感激し、喜んでいた。また、落ち葉清掃などをしていたが、いつの間にか実施しなくなった。観点を変えて松本城に関しての事業を検討したらどうか。
- 里山に関する事業は児童園児との交流から始まり、一般の子供達もなかなか山の中に親しむことが出来ないという事で実施されました。草や昆虫や動物などを観る機会が少なくなっている現代、そのような事を勉強していくという事も一つの考えだと思ふ。補助金を使わなくてもクラブの事業として継続して行けたら良いのでは。
- 物を買うために補助金を使うのは疑問。
- 松本RCから松くい虫事業のお誘いをいただいたが、当クラブと活動が合致しないので難しい。
- 防災ヘリコプターへ補助金が出来たら良いが。
- グローバル補助金の活用。
- 地区補助金の勉強会をする。

「地区における防災について」

西牧会長

松本RCの例会にて松本大学教授 木村晴壽様と防災研究チームの学生による講演がありました。

例会後に会長幹事が集まり話し合いをしました。白馬RCから災害時に他団体からはすぐ動いていただいた。ロータリーでは個々のクラブでは動きがあったが、地区としては非常に遅かったという事です。

佐々木ガバナー補佐としては、早く挨拶に行きたいという事でした。しかし、医療関係では、あまり早く勝手に出かけないという事になっており、少し意識のズレがありました。私としては、挨拶に行く行かないという事は別として、まず情報が欲しいと思います。情報共有をどうしたらよいか。

災害時、石巻RCの事務所が残っていたため、様々な情報をロータリー間で共有できたそうです。お見舞に行くことも大事ですが、まず情報共有の出来るシステムをしっかりといただき、地区事務所の耐震をしっかりといただきたいと申し入れてはおきました。

皆さんも災害の事については考えていただいて、今後また話し合っていたらと思います。

点 鐘 13:30

西牧会長